

改版履歴

第 1.0 版 2025 年 5 月 6 日 初版作成 富永(残、備品リストとの突合)

1. 活動概要

2024 年 5 月 10 日(金) 大会前日(エリートレース前日)			
時間	活動内容	場所	備考
10:00	Marine Plan MT	Hotel New Grand (Pheonix Room)	スイムチーフのみ参加
13:00	レスキュー講習	山下公園氷川丸バルコニー付近 (入館証は木曜に枚数を LOC へ)	可能な方は参加をお願いします(特に安全管理担当の方)・引上げ場所確認・ショートカットと潮流に伴う声掛けの程度を確認
15:00-16:30	備品確認	KnTU テント	当日に必要な物を纏める。LOC 経由で不足分を調整確認する
18:10~	LTO 全体 MTG	日本丸メモリアルパーク会議室	
2024 年 5 月 11 日(土) エイジレース前日(エリートレース当日)			
~16:30	備品確認	KnTU テント	エリートで使用した iPad 充電や水温計
15:20~	スイム TO ミーティング	山下公園スイムエリア (ポンツーン付近)	エリート終了後集合ください。
2024 年 5 月 12 日(日)エイジレース当日			
5:30	集合	山下公園 KnTU テント	無線はチーフが取得し配布予定
5:40~	受付け	山下公園スイムエリア	スイム C が取り纏め
5:45-5:50	ブリーフィング	↑	スイムエリアへ移動
5:50-6:45	スイムエリア設営・準備	ポンツーン、氷川丸	各ポジションの SCTO を中心に、設営・準備をお願いします
6:45	スイムチェックイン開始	スイムチェックイン	スイム受付が実施するので参考情報
7:15~	スイム競技スタート	ポンツーン、氷川丸	エイジパラ TRI-6/TRI-1~5/エイジ
11:00-12:10	稚魚放流	ポンツーン	基本競技終了後。最悪は選手優先で誘導
12:00	スイム競技終了	↑	無線でスイムパート終了連絡
12:00-12:30	スイムエリア片付け	↑	
12:30 頃	デブリーフィング	山下公園 KnTU テント	
12:40 頃	昼食	山下公園 KnTU テント	
12:40 頃	スイムパート解散	山下公園 KnTU テント	
~14:30 頃	他パートの応援	(各ポジション)	業務終了後、他パートの応援依頼の場合、ご協力いただけます様をお願いします

2. 競技カテゴリー

◆アスリートガイド参照

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age.pdf#page=8

3. コースマップ、試泳エリア

◆ポンツーンエリア:アスリートガイド参照

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age.pdf#page=27

※エイジパラの試泳はスタートエリア(スタート地点)で実施する

◆コースマップ:アスリートガイド参照

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age.pdf#page=28

4. TO配置(総勢:17名体制)

No	エリア・役割	職位	名前	無線	トラメガ	備考
1	全体統括	C	富永充昭	○	○	
2	ポンツーン・通路/試泳 IN	SC	亀村一郎	○	○	
3	↑		高橋雅之	—		SEA 後(想定9時半以降)
4	ポンツーン・試泳 OUT・通路	SC	押木雅朋	○	○	
5	↑(SKIP/リタイア等 Line 報告)		丸尚宏	—		
6	↑(SKIP/リタイア等 Line 報告)		今井一則			SEA 後(想定 10 時以降)
7	ポンツーン・スタート	SC	山田和彦	—	○	ホーン→HR へ
8	↑(最終選手 TOV 時間連携)		小池昌樹	—		iPad/スピーカー/置時計
9	↑		石井周二			SEA 後(想定9時半以降)
10	周回管理・情報連携・記録		廣澤克壽	—	○	誘導
11	↑		小田智子	—		Line でアングル報告
12	↑(飛び込み啓蒙、Race No.確認)		松田光太	—		SEA 後(想定9時半以降)
13	↑(リタイア等 Line 報告)		堀真弓			SEA 後(想定9時半以降)
14	氷川丸・安全・情報連携・記録	SC	元嶋直子	○		氷川丸側リタイア管理
15	↑		木幡智彦	—		氷川丸側リタイア管理
16	水上(安全・情報連携)	SC	岡部哲夫	○		救助船(IRB)
17	↑		長谷川満彦	○		救助船(IRB)

5. 全体の業務

1. ポンツーン整列待機中、選手を落ち着かせるような誘導を心掛けてください
2. 危険もしくは競技続行が困難と判断した場合はお声がけして状態確認をお願いします
3. リタイア選手の状態確認とアングルバンド回収・写真撮影・LINE での報告をお願いします
4. 津波の可能性がある場合、ホテルニューグランドへ避難と誘導をお願いします
5. 過去のスイム救助訓練の動画です。予習/復習でご確認をお願いいたします

* PWC から担架で搬送(仰向け搬送時)(1 分 15 秒) <https://youtu.be/7NPhI7TqSTU>

* PWC から担架で搬送(うつ伏せ搬送時)(1 分 53 秒) <https://youtu.be/b1i7dVE1PlQ>

* IRB からの搬送(56 秒) <https://youtu.be/4ASmtGXA8w>

* ボードから 1 人で搬送(1 分 15 秒) <https://youtu.be/TbSF0vNb8VI>

* バックマスク+CPR(1 分 23 秒) https://youtu.be/v_aQcLYAxDQ

6. タイムテーブル

◆アスリートガイド参照

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age.pdf#page=8

※スイム招集からの送り出し時刻はスイム招集資料を参照(上記試泳開始の2-4分前)

※リレー選手の DNF はトランジションへの無線連絡が必須(詳細は別記載)

7. スイム競技のルール

■ 競技規則

- JTU (日本トライアスロン連合) 競技規則 及びローカルルールを適用して実施する
- スタート方式は、カテゴリーごとに下記とする

カテゴリー	スタートプロトコル
エイジパラ	ウォーターインスタート ※全選手がポンツーンから海に入り、ポンツーンに掴まって一斉スタート(07:15/7:20 スタート)
スタンダード /リレー/スプリント	ローリングスタート ※5 秒ごと 3 名ずつスタートする。 ※マットを通過した時点で計測開始とする

➢ 各種目における周回数は選手自身が責任をもって管理し、競技する。周回不足は DNF とする

◆制限時間:アスリートガイド参照

★エイジパラ(35分00秒)

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_AgePara.pdf#page=28

★スタンダード(1周目:22分30秒、2週目:45分00秒)

★スプリント(25分00秒)

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age.pdf#page=28

★リレー1周目:22分30秒、2週目:45分00秒)

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age-Relay.pdf#page=28

8. 業務詳細・留意事項

・共通事項

■連絡体制

DNS/DNF/スイムスキップの連絡について、LINE グループを作成して情報共有します。

LINE グループには、スイムパート及び、情報が必要な各関連パート・部門のメンバーを登録する

■リタイア選手対応

(1)DNF 選手の下記を確認する

a)レースナンバー b)DNF 時刻 c)DNF 理由 d)メディカル対応の要否

⇒DNF 理由例:怖くなった。足が吊った。腹痛。Etc..

(2)DNF 選手のアンクルバンドを回収する

(3)速やかに、上記確認した内容を本部へ **LINE** で連絡する(無線は有事に開けておく運用)

(4)DNF,TOV した選手へ、会場への戻り方をご説明する。自計測での競技続行をしないようにチェック

(5)メディカル対応が必要な選手は、メディカルへ引き渡してください

(6)リレー選手がリタイアした場合は、トランジションへ **無線**でレースナンバーを伝達してください

(トランジションエリアからバイクパートの選手がスキップスタートする為)

(7)エリア毎に担当チームがアンクルバンドをグループ毎に整理し、番号が見えるように写真撮影してください

(上記3と重複する場合は不要とする)

■スキップ対応

試泳後のスキップ受付はスイム招集 TO がポンツーンまで来て対応して下さります。もし、タイミングが悪くスイム招集 TO が居られない場合、遮蔽缶と TO が来るまでこちらで引き留め、無線連絡し選手に待って頂きます。

■給水対応

給水対応は実施なし(給水はありません)

⇒給水が必要な選手に対してはメディカルに連携し、メディカルから給水対応するようお願いいたします

■落とし物対応

落とし物は各 TO が回収し、競技終了後に CTO 経由で大会本部へ届けます

■持参品

油性マジック、濡れても良い靴。※救助船担当は防寒対策&濡れても良いものを着用してください

試泳			
No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーン・通路/ 試泳エリアの設営	試泳 IN	・ポンツーンの通路に、カラーコーンを用いて「試泳」「スイムアップ」の 導線を区分けする(最大5～10マーカーコーンで実施) ・メガネ預かり所をポンツーン出口に設営(試泳側から置き、スイムアップ後に取れる様にする)
2	試泳タイミングのコントロール		・タイムテーブルに従って、試泳のタイミングをコントロール(多少の早めの入水は可) ・5 秒間隔で 3 名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる ・入水時には足から入るよう指示する(頭からの飛び込み×) ・試泳後のポンツーン待機人数に注意し試泳 OUT 側の TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする
3	パラ試泳について	ポンツーン・スタート	・スタートエリアで実施。スタート開始時間前に余裕をもって終了しスタートに臨む旨伝える(上がる場合は SEA 又は試泳 OUT) ・試泳後からスタート前迄はスイムスキップ宣言を可能 ・TRI6 がスタートする際、誘発して TRI1-5 がスタートしないように事前に声がけする
4	スイムスキップ制度	試泳 OUT	スイム受付時に加えて試泳後のスキップも可とする。試泳後にスキップ申請があった場合、ポンツーン迄来られたスイム招集側 TO が担当。無線で依頼するスイム招集 TO が不在の場合、試泳 OUT 担当 TO が1) 受付、2) スイム招集 TO へ無線連絡、3) アンクルバンド回収、4) スイム招集 TO へ選手と内容を引き継ぐ ※1: パラ選手の場合、T1まで誘導できるメンバーをその時の状況で編制 ※2: スタートラインのセンサーに触れない様、スイム招集 TO を待つ

ポンツーン側・スタート、周回			
No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーンエリアの設営		・ポンツーン上にカラーコーンを設置し、選手導線を設営 ・タモにて浮遊物撤去。竹ぼうきで清掃 ・SEA でプレトランジション設営された内容で導線影響ないか確認
2	水温・気温計測	小田	・水温/気温を計測し、本部へ無線連絡 〈測定時刻〉 06:30 スイムコース3か所にて計測 07:00,08:00,09:00,10:00,11:00 ポンツーン上にて計測
3	試泳監視	試泳 In/Out	・試泳している選手に異常がないか監視する ・試泳が終了して、ポンツーンへ上陸する選手を誘導する ・試泳を 2 周回しないようコントロールする
4	選手待機場所コントロール		必要物: 黒マジック、予備のキャップ、啓蒙サイネージ(日英) ・試泳終了後にポンツーン上でスタートを待っている選手を 3 名横列で整列させてコントロールする ・スイムキャップにNo.シールがない選手がいたら、マジックで書いてもらう。破れた等は予備を確保しているスイム招集に相談する ・ポンツーン上に待機する選手はポンツーンの状態(揺つき、沈み)などを見ながらコントロールする ・人数調整が必要な状態の場合、試泳スタートの TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする ・ショートカット防止: 「1つ目の樽ビイの後、氷川丸の船尾にある程度泳いでから2つ目の樽ビイに向かってください」と伝える。

			・再度確認事項: 頭からの飛び込み禁止、アンクルバンド装着、スイムブーツ装着不可、周回数
5	スターター		・入水は足からとなります。スタート、周回時の飛び込み禁止 ・オンタイムを意識し、タイムテーブルに従って、スタートのタイミングをコントロールする。問題発生時はチーフへ相談する ・各グループの最初の選手のスタート時に、スタートホーン(HR 又は来賓者以外の場合)でスタートの合図を実施する ・5 秒間隔で 3 名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる (iPad 自身のスマホにアプリを入れて 5 秒間隔で電子音を発生させる) ・各ウェーブ最終選手が入水した時刻をチーフに連携する ・TRI6 がスタートする前、必ず TRI1-5 に対して5分後と全員に伝える
6	周回管理		・周回ミスにならないように声掛けを行う(キャップ色を意識) ・1 周回目を終えた選手が 2 周回目に入るとき、入水位置まで選手を誘導する ・入水時には足から海へ入るよう啓蒙する(頭からの飛び込みは禁止) ・他の選手やローリングスタートの選手と接触しないよう誘導する ・体調不良と見て取れる選手に対しては 2 周目の入水前に必ず声がけする ・疲労が激しい選手、具合の悪そうな選手についてはメディカルスタッフに対応を依頼する ・疲労が激しい選手については、継続 or リタイアの意思確認を行う ・継続の意思があり、継続できる状態であれば競技を継続させる。それ以外の選手はリタイア勧告を行う
7	周回時タイムカット ／制限時間オーバー (足切り)	スタータ ／周回	・各ウェーブの最終出走時間からカット時間を算出し、SCTO へ報告する ・TOV した選手には丁寧に状況を伝え、その後のレース継続が出来ない事を勧告してください。制限時間は別箇所に記載 ・自身計測で完走を目指す人がおられるのでポンツーンからトランジションへ走り出したら注意する。最悪はトランジションへ無線連絡する
8	スイムアップ選手誘導	周回	・スイムアップしトランジションへ向かう選手を誘導する
9	リタイア対応 (ポンツーン側)	試泳 OUT ／周回	・救助船で搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う ・要救護者をメディカルチームへ連携する ・選手からアンクルバンドを回収する ・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を無線でトランジションへ連絡し試合継続連絡を行う。その後 LINE へ共有。リレー以外は無線連携不要。Line のみ
10	アンクルバンド管理		・フィニッシュ方面、周回の分岐点に箱か袋を置き、リタイア対応後にアンクルバンドを入れる ・試泳 OUT 側: 回収したアンクルバンドはデジタル時計の脚にマジックテープで取り付け、最終的にスイムチーフに引き継ぐ
11	リタイア選手情報共有 (LINE)		必要物: 個人スマートフォン ・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する(実際はバラでリアルタイム)
12	プレトランジション撤収	周回	・パラ終了後にエイジの整列に支障をきたす為 SEA と協力し撤収を行う
13	頭から飛び込み時		・頭から入った選手がいた場合、レースナンバーをスイムチーフへ伝える

水上・氷川丸側バルコニー			
No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	選手の安全管理 (救助艇/IRB)	水上	・パラ試泳時の監視 スタート時間の注意喚起も行う ・選手の安全確保 声掛け(体調、泳力、方向)、レスキューと協力して危なそうな人のウオッチ(潮流でカーブを描きながらの泳力者には注視する。レスキュー側とも共有する) ・平時は第1ブイ→第2のショートカット監視を行う ・危険な(溺れそうな)選手の監視/声掛け/リタイア勧告を行う ・TOV になりそうな選手がいる場合、チーフから連絡がない場合は IRB からチーフに無線連絡。時間に対して TOV 判定を IRB へ無線回答。 ・リタイア勧告/TOV した選手をライフガードに連携し引き上げ、バルコニーへ搬送する(原則として氷川丸側へ搬送する) ※緊急の場合はポンツーンへ搬送される可能性がある。搬送先については、監視船のライフセーバーと連携して決める ・軽溺/重溺者等、要メディカル対応の場合は即、無線連絡を行い、陸上の体制を整える ・リタイア選手を、陸上側 TO へ引き渡す ・各グループの最終選手スタートから制限時間を超えた選手を引上げる 手順: ①キャップ色で特定②告知(5分前～)③回収: 制限超過告知 ※レスキューと水上バイクの双方とコミュニケーションを取って頂く確認をする ※リタイア情報を無線に流すのは不要。引き上げ先の TO で Line 処理する ※レスキュー側方針。第二ブイ迄: ポンツーン側へ。第三ブイ: 氷川丸側へ
2	選手の安全管理(陸上から)	氷川丸	・選手スタート後、陸上より選手の監視を行う。(双眼鏡等を使用し、泳ぎ方や状態等を判断) ・危険な選手を発見した場合は、IRB、近くのライフセーバー、救助艇へ 連絡し対応してもらう
3	リタイア対応 (氷川丸側バルコニー)	氷川丸	・搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う ・要救護者をメディカルチームへ連携する ・選手からアンクルバンドを回収する ・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を無線でトランジションへ連絡し試合継続連絡を行う。その後 LINE へ共有 ・TO 要員不足の事態は無線連絡で応援を(白波とかで警戒する)
4	リタイア選手情報共有 (LINE)	氷川丸	・メディカルテント内のホワイトボードで救護者情報の管理が行われるので、アンクルバンドと照合する(必要に応じてホワイトボード への記載も行う)・リタイア選手のアンクルバンドをグループ毎に整理して管理する・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する ★24 振返りで現実を下記に追記。上記はいままでの ・Line グループ作成し、DNF 単位に画像をアップロード ・本部で受理されたらいいねマークが付く ・受け取ったアンクルバンドはまとめて計測会社に渡す



LINE グループへ送ったアンクルバンド写真例



氷川丸リタイア選手引揚場所

9. 備品リスト

No	備品名	数量	備考
1	スタートホーン	2	前日に本部調整しエリート使用後を当日受領
2	iPad	1	・5 秒インターバル電子音発信用 ・インターバルタイマーアプリを入れて使用 (iPad はアカウントがない為アプリは入れられない)
3	トラメガ	2	試泳、スタート(マイク・腰スピーカータイプが良)
4	テーブル、養生テープ	2	サイネージ(メガネ)用
5	椅子	10	リタイア用。ポンツーン5、氷川丸5
6	ゴミ袋(大)	10	ポンツーン 5、氷川丸側 5(24 振返り:未使用、25 再確認)
7	ゴミ箱	2	マスク、アンクルバンド回収用(ポンツーン)
8	ビニール袋(小)	10	ポンツーン 5、氷川丸 5(ポンツーン1使用)
9	マジック	3	ポンツーン2、氷川丸1(各自持参)
10	コーン	25	カラーマーカーコーンを使用
11	コーンパー	25	内、スタートと周回との間に1本は必須(25 実際使用数を要確認)
12	気温・水温計	1	エリート→LOC への引き渡しを LOC に伝え当日確保依頼。
13	竹ぼうき	1	
14	タモ	3	
15	双眼鏡	2	1の場合はポンツーンか氷川丸のどちらかで
16	予備のスィムキャップー式	各色	赤2、黄橙各4、桃白青緑各6(最低各色2枚想定数)(確保はスイム招集側に確認)
17	置時計(秒針付き)	1	スタートで使用(計測会社と時間確認をする。ポンツーンに置かれているが見えない。私物の電波時計を使用)

10. サイネージ

No	サイネージ	数量	設置場所	No	サイネージ	数量	設置場所
1		2 枚	・ポンツーン出口(選手競技導線)	2		1 枚	・メガネ預かり所

※図柄・デザインは事務局にて最終決定されるため、変更される可能性があります。

11. Group Line

- 1) Line Open Chat の RQ コードから参加する
- 2) 以下の手順でチャットの名前を変更する
右上三をクリック→設定→名前をクリックして下記ルールで変更。
SW: 名前(苗字名前の順)
HQ: 名前



2025 WTCS 横浜大会 オペレーションマニュアル【エイジ・スイム】

ここから下はスイムチーフ用

メモ:テーブル情報の再度チェック

2025 WTCS 横浜大会 オペレーションマニュアル【エイジ・スイム】

Grp	W	Check -in	Warm up	START	Cate.	BIB No.	人数	1周目 制限	2周目 制限	cap
←										
TRI	TRI	06:45 07:00	07:00 07:15	07:15 (一斉)	TRI 6 のみ	61-63 /w GUIDE	3x2	35' 00 :	-	グリーン
←										
↑	↑	↑	↑	07:20 (一斉)	TRI 1 TRI 2 TRI 3 TRI 4 TRI 5	11 21-23 31-34 41-42 51-54	1 3 4 2 4	35' 00 :	-	レッド イエロー
←										
A	1	07:20 07:35	07:50 08:10	08:00	30-34 35-39	1001-1175	175	22' 30" :	45'	ピンク /レッド混入
↑	2	↑	↑	08:06	40-49	1201-1357	157	↑ :	↑ :	ブルー
↑	3	↑	↑	08:13- 08:20	↑	1401-1556	156	↑ :	↑ :	イエロー
←										
B	4	08:25- 08:40	08:55- 09:10	09:05	19 20-24 25-29	2001-2057	57	↑ :	↑ :	オレンジ
	5	↑	↑	09:11	55-59	2101-2285	185	↑ :	↑ :	ホワイト
	6	↑	↑	09:18- 09:23	60-64 65-69 70-74 75-79 80-	2301-2471	171	↑ :	↑ :	レッド
←										
C	7	09:25- 09:40	09:55- 10:12	10:05	50-54	3001-3111	111	↑ :	↑ :	ブルー
	8	↑	↑	10:10	↑	3201-3311	111	↑ :	↑ :	グリーン
	9	↑	↑	10:15	F40-	3401-3494	94	↑ :	↑ :	オレンジ
	10	↑	↑	10:20- 10:23	F-39 RelayFem RelayMix RelayMen	3501-3555 3601-3604 3701-3717,3809 3801-3811	55 12 54 30	↑ :	↑ :	ホワイト
←										
D	11	10:30- 10:45	11:00- 11:12	11:10	Female RelayFem RelayMix RelayMen	101-174 - なし 301-306 401-403	74 0 6 3	25' 00 :	-	レッド
	12	↑	↑	11:12	55-59 60-69 70-79 80-89	501-597	97	↑ :	-	オレンジ
	13	↑	↑	11:15	40-49	601-636	36	↑ :	-	グリーン
	14	↑	↑	11:17	50-54	701-731	31	↑ :	-	グリーン
	15	↑	↑	11:19- 11:21	19 20-29 30-39	801-853	53	↑ :	-	オレンジ
←										

※スイム招集からの送り出し時刻はスイム招集資料を参照(上記試泳開始の2-4分前) 1703+guide3

※リレー選手の DNF はトランジションへの無線連絡が必須(詳細は別記載)

※chief は上記各 G で選手開始と最終上がり時に無線連絡する(TRI6 定刻スタートしました/グループO,最終上りました)

◆リタイア選手対応

- (1)DNF 選手の下記、表の内容を確認する (2)DNF 選手のアンクルバンドを回収する
- (3)速やかに、上記確認した内容を本部へ **LINE** で連絡する(無線は有事に開けておく運用)
- (4) SKIP,DNF,TOV した選手へ、会場への戻り方をご説明する。**自計測での競技続行をしないようにチェック**
- (5)メディカル対応が必要な選手は、メディカルへ引き渡してください
- (6)リレー選手がリタイアした場合とスイムスキップは、トランジションへ **無線で**レースナンバーを伝達
(リタイアリレー選手はトランジションエリアからバイクパートの選手がスキップスタートする。スイムスキップ選手は SKIP エリアからスタート)
- (7)エリア毎に担当チームがアンクルバンドをグループ毎に整理し、番号が見えるように写真撮影してください(上記3と重複する場合は不要とする)

ポンツーン	水温	気温	WGBT
6:00 前			
7:00			
8:00			
9:00			
10:00			
11:00			
:			

ナンバ	DNF 時刻	要救護	DNF 理由(SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛)					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					
	:	無・有	SKIP、TOV、足吊り、嘔気、過呼吸、練習不足、呼吸困難、腹痛、					

[illegible]